

アーティストと地域住民、来場者による2ヶ月間の航海

千葉県立美術館は開館50周年を記念して

千葉県出身のアーティスト・五十嵐靖晃による回遊型美術展覧会「海風」を開催します。

五十嵐は人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開しています。

東京湾を臨む、千葉みなとの美しい港湾に位置する千葉県立美術館。

本展では、美術館の建築空間を生かした新作インスタレーション、

収蔵作品とのコラボレーション、五十嵐の活動のドキュメント展示で構成する館内展示に加え、

千葉みなとエリアをフィールドとして屋外に作品を展示することでこの土地の魅力を明らかにし、

かつての海の上である埋立地に新たな文化の創造を試みます。

また、本展は、参加型のアートプロジェクトです。ボランティアサポーターの「海風クルー」をはじめ、地域住民、近隣の小学生、一般参加者と共につくり、来場者の参加によって完成します。

本展に参加し、埋立地に吹く「海風」を感じてみてください。

海風への参加のしかた

◎わたぶね…綿を浮かべに海に入る〈千葉みなととつながる土地の所作〉
7月13日にオープニングイベントとして水を張った舟に綿を浮かべ、9月8日の最終日にはフィナーレイベントとして千葉ポートパークの海に浮かべます。

◎そらあみ…漁網を編む〈世界とつながる海辺の所作〉
会期中も新たに編み足し、一部はフィナーレイベントでも掲げます。

◎風の子…吹き流しを持って回遊する〈埋立地の神様をみつける所作〉
美術館でつくった風の子を持って、展覧会を回遊します。

参加無料／ご予約・事前申込不要

会場：千葉県立美術館第7展示室 開催日：HPをご確認ください。



小学生「海風クルー」の作品制作風景

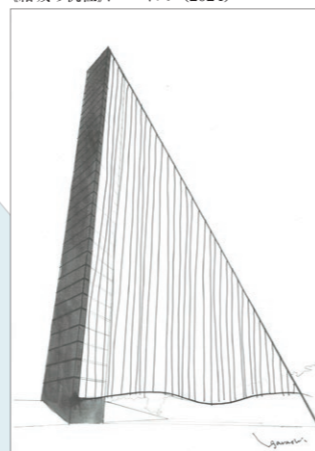
《そらあみ-島巡り》(瀬戸内国際芸術祭2019)



《船霊様》ドローイング(2024)



《結城の帆柱》ドローイング(2024)



3 千葉ポートタワー

《結城の帆柱》無料公開

千葉みなとのランドマークである、高さ125mのポートタワーを帆柱に見立ててシンボル化するプロジェクトのプラン展示。

《船霊様》

帆柱に祀られる船の守護神である「船霊様」をポートタワー内部に制作し、千葉みなとが航海に出るイメージを象徴的に表す。

※開場日はHPをご確認ください。

協力：丸尾焼

《風の子》ドローイング(2024)



4 千葉ポートパーク 展望の丘

《風の子》無料公開

風を可視化する吹き流し。風を通して、埋立地にいる神様を想像させる。近隣の小学生と共に制作。会期中に開催するワークショップを通して、さらに数を増し、新たな景色となる。

海風の物語

海風

古代日本語で、海はワタ、風はシ。海風はワタシであり、あなた。展覧会「海風」はワタシであり、あなたの展覧会。

結城

会場となる千葉みなと沿岸部はかつて「結城」と言われ、結城は綿の採れた土地を意味する。

綿

綿は海を渡り、流れ着いた土地で発芽した。綿は海のほとりで星を見る。綿は星のたね。海風(あなた)は綿(星のたね)を運ぶ。

風

風は境界を越えていく。風は流れを生む。風は時に神様であり、子どもであり、私たちでもある。

海

海は人を混ぜる。海は日常を浄化し再生させる。海は記憶を積層させ、あっちとこっちをつないでいる。

2 さんばしひろば

《そらあみ》無料公開

五十嵐の代表作。参加者と共に漁網を編み、空に掲げることで、風景を捉え直す。ボランティアサポーターの「海風クルー」と共に編み上げた。工場地帯を背景とする、千葉みなとならではの海の風景を現出する。



1 千葉県立美術館

有料展示

《海織り》

メタボリズムの建築家・大高正人設計による美術館の展示空間を生かして、美術館内部に巨大な海面を織り上げる。かつて海であった埋立地の記憶を想起させる新作インスタレーション。

協力：クラフト工房 La Mano

《糸の星》

一般公募した糸玉を星に見立てて、満天の星が広がる空間を創出するプロジェクト。糸玉には、巻いた人それぞれの個性が表れる。一人一人の想いが集まり、一つの景色となる。

《わたぶね》

2ヶ月間の展覧会期間を綿の航海に見立てた作品。オープニングイベントとして水を張った舟に綿を浮かべる。

《ドキュメント展示》

五十嵐のこれまでの活動を資料とともにふりかえる、航海記録をイメージしたアーカイブ展示。

《収蔵作品コラボレーション展示》

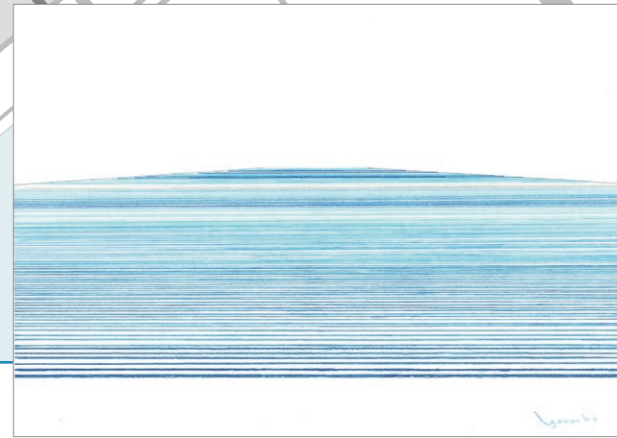
ギュスターヴ・クールベをはじめとした千葉県立美術館の所蔵作品と五十嵐によるコラボレーション展示。従来の展示に新たな視点を見出す試み。

協力：クラフト工房 La Mano

《糸の星》ドローイング(2024)



《海織り》ドローイング(2024)



令和6年7月13日(土) — 9月8日(日)
開館時間 午前9時～午後4時30分(金・土曜日及び休前日は午後7時30分まで) 入場は閉館の30分前まで
休館日 月曜日(ただし、7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
入場料 一般1000円(800円)
一 般 1 0 0 0 円 (8 0 0 円)
高 校 ・ 大 学 生 5 0 0 円 (4 0 0 円)
※(内)は20名以上の団体持参、中学生以下、65歳以上障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

千葉県立美術館
千葉県みなとエリア
+ 千葉県みなとエリア

主催：千葉県立美術館、特別協力：船の科学館「海の学びミュージアム」サポート：第一織物株式会社、助成：公益財団法人野村財団
後援：千葉市教育委員会、ジェイコム千葉、朝日新聞社千葉総局、産経新聞社千葉総局、株式会社千葉日報社、東京新聞千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局、ベイラエム、ニッパ(順不同)



関連イベント

7月13日(土)
○オープニングイベント
わたぶね出航式 10時～11時30分(受付開始:9時30分)
2か月間のはじまりを告げるセレモニー。
会場:千葉県立美術館第7展示室/要入場料/事前申込不要
そらあみ掲揚式 14時～15時
《そらあみ》を空に掲げる瞬間をお披露目します。
会場:さんばしひろば/参加無料/事前申込不要 ※天候により変更の可能性があります。

8月11日(日) 14時～15時(受付:13時30分～)
○「風を掴むーアートで現代を航海するー」
日比野克彦(アーティスト・東京藝術大学学長)×五十嵐靖晃
会場:千葉県立美術館講堂/定員:160名/聴講無料・事前申込制・先着順

8月17日(土) 14時～15時30分(受付:13時30分～)
○「風を読むー埋立地に文化をつくるー」
楠本智郎(つなぎ美術館学芸員)×小林裕美(千葉県立中央博物館上席研究員)×鈴木年樹(千葉市海まつり協議会会長)×東健一(印西市立印西中学校教頭)×五十嵐靖晃
会場:千葉県立美術館講堂/定員:180名/聴講無料・事前申込制・先着順

8月24日(土) 14時～15時(受付:13時30分～)
○「風を熾すーアートで社会を動かすー」
北川フラム(アートディレクター)×五十嵐靖晃
会場:千葉県立美術館講堂/定員:160名/聴講無料・事前申込制・先着順 ※各回申込はイベントの1ヶ月前から開始。

地域連携プログラム

展覧会期中に地域連携対象施設を利用し、レシートや半券を持って美術館でご提示いただくと、海風オリジナルステッカーをプレゼントします。

MAP A	MAP B	MAP C
アマンダンセイル	Ocean table	オークラ千葉ホテル
海風展の半券提示で、レストラン利用の方には、オリジナルカクテル「海風」(ノンアルコールも可)をプレゼント。※平日の11時30分～15時(ラストオーダー14時)のみ(水曜日定休)	海風展の半券提示で、お料理10%引き。	1Fラウンジ「トレビ」ご利用の際、海風展の半券を提示し、会員プログラム「One Harmony」に新規ご入会で、「コーヒー+紅茶」を1杯プレゼント。更にお会計時に総額より10%割引。※軽食またはデザートをご注文の方に限る。
千葉市中央区中央港1-28-2 TEL 043-203-3339	千葉市中央区中央港1-28-6・1-2F TEL 043-203-3500 営業時間:10時～23時(ラストオーダー22時)	千葉市中央区中央港1-13-3 TEL 043-248-1128(レストラン・セブンスーズ) 営業時間:10時～17時
MAP D	MAP E	MAP F
千葉港めぐり観光船	PIER-01	千葉ポートタワー
海風展の半券提示で千葉港めぐり観光船の乗船料10%引き。	海風展の半券提示で、お料理10%引き。	海風展の半券提示でタワー入館料10%引き。
千葉市中央区中央港1-20-1 ケーズハーバー1階 TEL 043-205-4333 出航予定時刻:毎日11時30分、13時30分	千葉市中央区中央港1-20-1 ケーズハーバー1階 TEL 043-243-5100 営業時間:11時～23時	千葉市中央区中央港1丁目 千葉ポートパーク内 TEL 043-241-0125 営業時間:9時～21時(8/28休館)

千葉県立美術館 50th

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1
TEL 043-242-8311 https://www.chiba-muse.or.jp/ART/
最新の開館情報については、当館ホームページでご確認ください。

海風 特設サイト
https://www.chiba-umikaze.com/

8月20日(火) **おほほお**
御浜下り
神輿の海上渡御を行う寒川神社の例祭。「妙見様が海に入らないと漁がない」と言われる。昨年より五十嵐も参加し、土地の歴史や人とながらぎきっかけとなった。
会場:千葉ポートパーク ※詳細はHPをご確認ください。

9月8日(日)
○**おほほお**
子ども御浜下り×海風フィナーレイベント《わたぶね》
海風の物語を未来へ伝えるため、綿の種を海へ届けるフィナーレイベント
会場:千葉ポートパーク ※詳細はHPをご確認ください。

五十嵐靖晃
1978年千葉県生まれ。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは自然と人間の関わり方の術であり、この時代、多様な人々をつなげるものとしてあると考える。2005年にヨットで日本からミクロネシアまで約4000kmを航海した経験から“海からの視座”を活動の根底とする。代表的なプロジェクトは、樟の杜を舞台に千年続くアートプロジェクトを目指す《くすかき》(福岡県/太宰府天満宮/2010～)、漁師らと共に漁網を空に向かって編み上げ土地の風景をつかまえる《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭2013・2016・2019ほか)、南極にて子午線を糸に見立て世界各地の人と組んだ紐で共に風を揚げる《時を束ねる》(南極ビエンナーレ2017)、古くから伝わる民間信仰をアート作品として再構築し後世に受け継いでいくことを目指す《海渡り》(熊本県/つなぎ美術館/2021～)など。
http://igayasu.com

スタンプラリー

会期中、各会場・施設のスタンプをすべて集めて美術館総合受付でご提示いただくと、先着で海風オリジナルグッズをプレゼントします。

1	2	
千葉県立美術館 《海織り》ほか	さんばしひろば 《そらあみ》	
3	4	
千葉ポートタワー 《結城の帆柱》《船霊様》	千葉ポートパーク 展望の丘 《風の子》	
A	B	C
アマンダンセイル	Ocean table	オークラ千葉ホテル
D	E	F
千葉港めぐり観光船	PIER-01	千葉ポートタワー